

長野県森林づくり県民税に関する基本方針の一部改正（案）について

森林政策課・森林づくり推進課

「防災・減災のための里山整備」について（目標達成に向けた取組の加速化）

基本方針に定める事業の進捗状況等を踏まえ、以下により事業要件を改善し、基本方針を一部改正して事業を実施したい。

1 検討の経緯・背景等

- ・ 第3期（H30 年度～R4 年度）において、航空レーザ測量成果等をもとに、地域の意向等を踏まえて市町村が作成した里山整備方針に示す「防災・減災のために優先的に整備が必要な森林」を対象に間伐等を実施（目標面積 4,300ha）
- ・ 第3期末までに未整備となった1,600ha（※）を第4期において引続き間伐等を実施
- ・ 令和5年度の実績等を踏まえ、第4期での目標達成に向け、進捗向上に必要な見直し・改善を図るための検討に着手（令和6年度第1回県民会議において「防災・減災のための里山整備の進捗を図る上での課題の分析」に関してご意見あり）

2 現在の状況等

現時点において明確な課題等として、以下の事項が考えられる

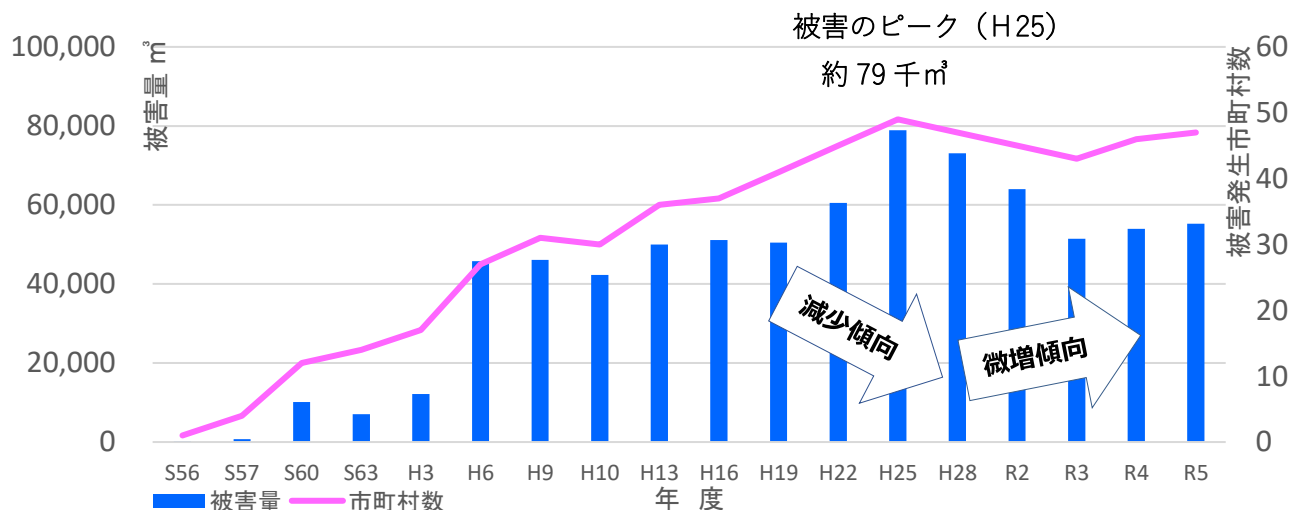
<現 状>

- ・ 松くい虫被害が直近2年連続で微増傾向
- ・ 松くい虫被害が拡大している市町村（被害先端地域）等では、対象森林への被害拡大が懸念
- ・ 間伐後に被害が発生した場合、再度森林整備を要するため森林所有者が施業に消極的

<課 題>

- ・ 防災・減災の観点から、整備が遅れているアカマツ林の早期森林整備が必要
- ・ 間伐に限らない防災・減災に資する施業の実施

【参考】松くい虫による被害の推移



3 改善が必要な理由及び方向性（案）

＜改善が必要な理由等＞

- ・ アカマツ林に係る「防災・減災のための里山整備」を加速化し、早期の地域住民の安全・安心の確保が求められる。
- ・ 間伐は森林の健全化には一定の効果があるが、アカマツ林の間伐実施後に松くい虫被害が発生した場合に再度森林整備が必要になるほか、アカマツの枯損により倒木が発生し、集落やライフラインへの被害が懸念される。
- ・ 防災上、アカマツから広葉樹等他樹種の森林への更新等、間伐以外の施業による森林整備が望まれている。

＜改善の方向性＞

- ・ 被害拡大の危険性が高い林分では、防災・減災のために行う間伐に代わり、確実に更新が図られることを条件にアカマツ林を広葉樹等へ更新する取組を支援対象に追加する。
- ・ 補助対象の追加に伴い、以下のとおり基本方針の一部改正を検討し、令和7年度以降の事業から内容を拡充する。
- ・ 取組に必要な財源は、第3期の執行残額となっている約1.2億円を活用する。

＜森林づくり県民税に関する基本方針 別紙 森林づくり県民税活用事業（一部抜粋）＞

1 森林の若返り促進と安心・安全な里山づくり

	項目	事業概要	目標値	事業費	森林税額
現在	2 防災・減災のための里山整備	土砂災害や流木被害等を防止するための里山の間伐等整備	間伐面積 1,500ha／5年間	8.3億円	4.3億円
改正 (案)	同上	同上	間伐面積 1,600ha／5年間	10.5億円	5.5億円
			(+100ha)	(+2.2億円)	(+1.2億円)

※ 防災・減災のための里山整備の目標値等について

- ・ 基本方針策定時（R4.11月）の「防災・減災のための里山整備」に係る目標値は、策定時点の実績見込みを元に算出して設定（＝第3期目標値－第3期実績見込み）。
- ・ 第3期実績（確定値）が見込み時点から100ha減となり、第4期へ持ち越す面積が100ha増加。また、基金残高も当初の見込み約0.4億円から約1.2億円に増加。
- ・ 基本方針の改正と合わせて目標値を修正（1,600ha）するとともに、今回の改正分の取組と合わせて、第3期の執行残額となっている約1.2億円を活用して取組を実施する。

防災・減災のための里山整備に関する課題（アカマツ林の整備）

事業内容 土砂災害や流木被害等を防止するために行う里山の間伐等の森林整備を支援

目指す姿 間伐面積 1,600ha／5年間

これまでの取組状況・課題

- 第3期（H30～R4）において、未整備の里山のうち森林の込み具合等から災害の危険度が高い森林を抽出し、森林整備を推進
- 令和4年度までに、目標4,300ha中、2,700haの整備を実施。残る1,600haを第4期（R5～R9）にて実施する計画としている。



これまでの状況を踏まえた課題

H30の取組開始から約6年が経過し、以下の変化や課題が生じている

- **松くい虫被害の拡大により、アカマツ林での整備が遅延**
⇒対象となる森林の周辺でも松くい虫被害の発生が確認されており、間伐後、間もなく被害を受ける可能性があることから、間伐に踏み切れていない



今回の改正内容（案）

○ アカマツ林における広葉樹林等への更新対策の追加（拡充）

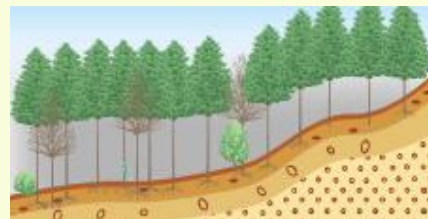
- ・ 県内でも被害が拡大している地域（先端地域）において里山整備を計画していたアカマツ林について、**アカマツを伐採し、広葉樹等次の森林への確実な更新を図る取組を新たに追加**。
- ・ 従来の間伐に加えて、アカマツ林に係る課題解決に繋げることで、**アカマツ林の早期の森林整備を促進**する。
- ・ 防災・減災のための里山整備が目的だが、将来的な被害発生や枯損木等の倒木被害の防止に寄与する。

<拡充の内容>

- ・ 内容：保育間伐、間伐、作業道整備
アカマツ林の更新を図るための伐採等
- ・ 森林税活用額：約0.7億円（見込み事業量：約50ha）

<施業のイメージ>

- ・ アカマツを部分的に伐採し、広葉樹林等への転換を促す。
- ・ 広葉樹が生育している場合は種子供給を見込んで伐採時に残して施業する。



【参考】防災・減災の里山整備に係る現状

●現在の状況（アカマツ林分）

- 防災・減災のための里山整備は、事業開始した平成30年度から約6年以上が経過
- 松くい虫被害は2年連続微増傾向。以下により対策を実施
 - ↳被害先端地域では、更なる拡大の防止 <国庫補助事業等>
 - ↳守るべき松林の周辺森林等では、被害の予防・拡大防止 <森林税（市町村森林整備支援事業）等>
- 松くい虫被害拡大により、当該事業の対象森林の周辺等でも被害がみられる

●課題

- 被害が拡大している地域などでは、間伐実施後に被害を受ける可能性がある（間伐以外の対策が再度必要となる場合が想定される）
- 被害発生により再度森林整備の必要が生じる可能性があることから、森林所有者が間伐に消極的で整備が遅れている

**防災・減災のために整備が必要なアカマツ林について
「新たな森林へ更新する取組」への支援を拡充**

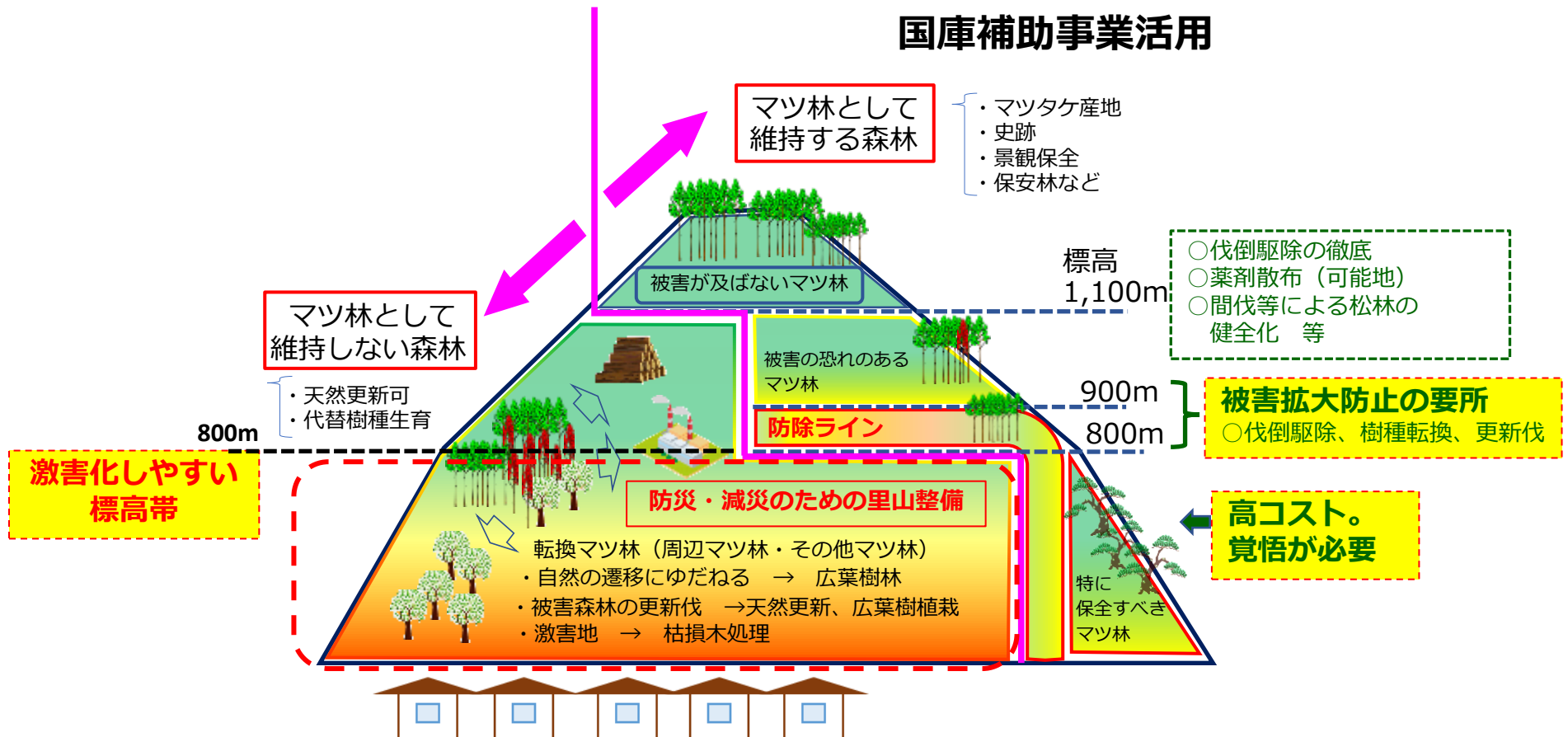
●事業規模（案）

事業規模	50ha／3年	被害先端地域の対象アカマツ人工林のうち、激害化しやすい森林の面積
森林税活用額	70,000千円／3年	1,400千円×面積（50ha）×補助率<造林補助事業単価より>

【参考】松くい虫被害対策の考え方について

【ポイント】

- ✓ 松くい虫被害の防除ラインを決めて、その周辺を重点的に実施
- ✓ やりたい場所で事業を実施するのではなく、松くい虫被害を拡大防止するには、どこで計画することが効果的かをよく検討して実施



【参考】関連する事業の状況整理

	防災・減災のための 里山整備＜今回拡充＞	公共造林事業のうち 被害森林整備	公共造林事業のうち 保全松林緊急保護整備
目的	防災・減災の観点から、ICTを活用して抽出した災害リスクの高い森林のうち、松くい虫被害が発生する危険性の高い森林について、<u>間伐または、森林の更新を図るための森林整備</u>を実施 →防災・減災を目的とした事業	<u>松くい虫による被害を含む気象害等による被害森林</u>であって、自助努力等によっては適切な整備が期待できない森林において森林整備を実施 →森林の復旧を目的とした事業	<u>森林病虫害等防除法第2条第1項第1号に掲げる松くい虫が運ぶ線虫類により被害が発生している松林</u>において、公益的機能の高い健全な松林の整備又は<u>樹種転換を実施</u> →松くい虫被害が発生している松林において、公益的機能の高い健全な松林の整備と<u>被害の拡大を防止</u>を目的とした事業
事業内容	緊急的に整備が必要な里山の間伐（搬出間伐・保育間伐・作業道・付帯施設等整備）、アカマツ林の更新を図るための森林整備	人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、更新伐、付帯施設等整備	人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、保育間伐、衛生伐、更新伐、付帯施設等整備
考え方 補助要件	市町村の方針に基づき防災・減災のために必要な整備を実施 ・里山整備方針に記載のある森林（県・市町村有林除く） ・森林所有者、実施者、地域振興局長の3者協定の締結 ・面積要件 0.1ha以上 ・皆伐以外の施業方法（間伐・搬出間伐・更新伐）	森林所有者の意思で被害森林において実施 ・所有者、実施者、市町村の3者協定の締結 ・面積要件 0.1ha以上 ・整理伐、人工林整理伐、面的複層林施業 ・整理伐については伐採率の上限70％、それ以外は50％以下	守るべき松林または周辺森林において実施 ・面積要件 0.1ha以上 ・整理伐、人工林整理伐、面的複層林施業 ・整理伐については伐採率の上限70％、それ以外は50％以下
財源	森林づくり県民税	国庫補助 （森林環境保全整備事業のうち特定機能回復事業）	国庫補助 （森林環境保全整備事業のうち特定機能回復事業）
補助率	9／10	7／10	7／10